

北海道富良野市における基本計画の概要

平成30年3月28日同意
令和元年6月28日変更同意

計画のポイント

富良野市は、農業と観光業を基幹産業として発展してきた農村観光都市である。雇用者数の3割以上を卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業が占めており、付加価値額についても2割以上を占める経済構造をなしている。特に卸売業・小売業の内訳では飲食料品卸売業が2割以上を占めているほか、基幹産業である農業に関連する農畜産物の加工や農業機械製造などの分野や窯業・土石製品などのものづくり関連分野の製造業が集積している。また、観光業では、みどり豊かな自然環境を活かした景観観光、アクティビティ観光、冬季スノーリゾートを中心とした通年型観光を進めている。今後、新たに設立されるふらの版DMOを中心に、インバウンドを始め国内の観光客の長期滞在型観光に重点を置き、基盤強化に向けた設備投資等を活性化させ、さらなる観光客の増加を推進する。

こうした地域特性を生かした事業を推進し、地域企業の稼ぐ力の底上げを図るとともに取引量の増加、観光客の増加による外貨獲得を図ることで、地域産業に新たな付加価値と雇用者を生み出し経済の好循環に繋げていく。

促進区域

北海道富良野市

経済的効果の目標

- ・1件あたり平均40百万円の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を6件創出。
- ・これらの地域経済牽引事業が促進区域で1.42倍の波及効果を与え、促進区域で約340百万円の付加価値額を創出することを目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること（①～⑤のいずれか）】

- ①富良野市の野菜、乳用牛等の特産物を活用した**農林水産分野**
- ②富良野市の野菜、乳用牛等の特産物を活用した**食料品製造関連分野**
- ③富良野市の窯業・土石製品製造業等の集積を活用した**ものづくり関連分野**
- ④富良野市の飲食料品卸売業・小売業の集積を活用した**卸売・小売業関連分野**
- ⑤富良野市のラベンダー、スキー場等の観光資源を活用した**観光関連分野**

【要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・付加価値増加分：3,920万円超

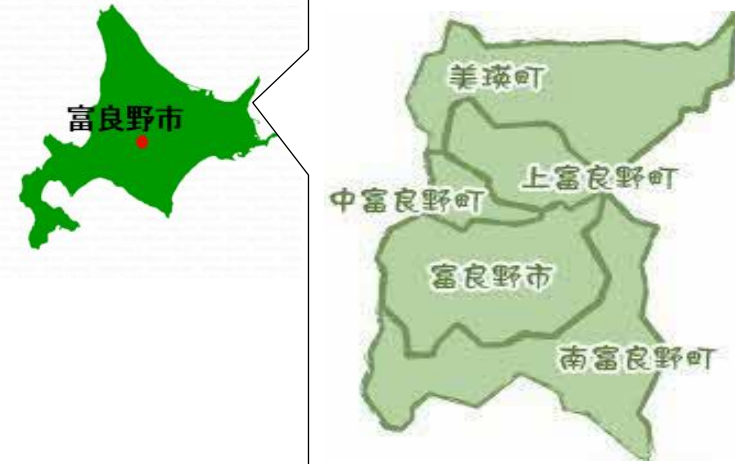
【要件3：いずれかの経済的効果が見込まれること】

- ①取引額：6%増加
- ②売上：6%増加
- ③雇用者数：7%増加

制度・事業環境の整備

- ・不動産取得税、固定資産税等の減免措置
- ・企業立地促進のための低利融資
- ・情報処理の促進のための環境の整備（公共データの民間公開に関する事項等）
- ・事業者からの事業環境整備の提案への対応
- ・中小企業振興のための措置
- ・地方創生関係施策
- ・セミナー等開催による人材育成支援 等

《促進区域図》



地域経済牽引支援機関

- ・富良野商工会議所
- ・山部商工会
- ・ふらの農業協同組合
- ・(一社)ふらの観光協会
- ・富良野金融協会
- ・富良野市企業誘致推進連絡会議

計画期間

計画同意の日から令和5年度末日、又は、新基本方針に基づいて、令和5年度末日までに改めて新基本計画を作成する場合は、当該新基本計画の同意日の前日のいずれか早い日まで